

## ティーム・ティーチング

### MEFとの授業実践を通して

足利市立毛野中学校 駒場 貞夫

英語教育に対して、今日まで数多くの提言がなされている。授業時数のこと、1学級の生徒数のこと、教員養成のこと、教育機器導入のこと、教員の海外研修のこと、外国人講師導入のこと、提言は多いが直ちに解決できるものは少い。文部省が行っている英語教育への施策は外国人の教師の導入、教員の海外研修のための援助、LL等視聴覚機器の設備に対する援助である。しかしこれらの施策も直ちに全国の教育現場を満たすものではない。栃木県教育委員会は県内中学校の英語教育充実のために英語指導主事助手(Mombusho English Fellow 以下MEF)を導入した。56年度1名、57年度1名、58年度2名を県研修センターへ配置した。しかし県内各中学校への訪問は1年にせいぜい1回であった。このような現状のもとに足利市が本市独自のMEFを配置し英語教育の充実のために力を入れてくれたことに対し感謝申しあげたいと思う。本市のMEFはロータリー交換留学生として来日経験のある米国人女性テリー・マッカーシーさん(Miss Teri McCarthy)である。彼女はミネソタ州ミネアポリス出身で、58年7月以来、市内の各中学校を訪問し英語の授業の援助指導をしている。

### MEFの役割

MEFの学校訪問の目的は、「英語担当教員の英語の運用力及び生徒の聞く力、話す力の向上を図り、中学校英語教育の充実に資する」ことにあり、仕事の内容は主に次の通りである。

#### (1) 英語担当教員の研修の講師として要請する場合

- ㊦ 教科書教材の音読演習
- ㊧ 教科書の題材内容についての質問応答練習
- ㊨ 教科書の言語表現についての質疑
- ㊩ 題材に関するアメリカの文化的背景についての質疑
- ㊪ 指導主事助手の準備した内容についての演習、等

#### (2) 英語授業の助手として要請する場合

- ① 英語担当教員の指導に協力する指導
  - ㊦ 新出語の発音指導
  - ㊧ 新文型の導入
  - ㊨ 示範音読
  - ㊩ 教科書教材についての質問応答
  - ㊪ その他英語担当教員の指導する内容、等
- ② 英語担当教員の指示による単独の指導
  - ㊦ 簡単な英語による自己紹介
  - ㊧ 示範音読



- (ウ) 教科書教材についての質問応答
- (エ) 助手の準備した教材による指導
- (オ) その他英語担当教員の指示する内容、等

(3) 英語関係クラブ活動への客員参加

(4) 録音教材の作成

- (ア) 教材の選択及び編集
- (イ) Native speakerとしての音声面にかかわること、等

来足以来の訪問指導は現在(59年1月)まで次の通りである。7月11校, 9月16校, 10月14校, 11月12校, 12月13校, 1月11校。その他英語関係クラブ活動への客員参加, 中教研教科研究会, 指導法研究会, 英語研究同好会への参加など, その活動は多岐にわたっている。

## MEFに期待するもの

近頃, 授業を通して感じることは, 生徒の学習意欲が低下しているのではないかということである。要因として, 次のことが考えられる。

- (1) 生徒は英語を使わなければ生活できないという状況下にいるわけではない。そのため教える側にも英語学習の到達目標をどこにおいたらよいかあいまいな点がある。学習への動機づけも弱い。
- (2) 教科書中心の授業になりがちである。文法, 文型, 単語など知識として憶えるものの数が増えるばかりで, 運用につながりにくい。(運用の練習が少ない。) 日常生活の中で, 外国人と話したり, 電話をかけたり, 買物で英語を話したりすることがないから, そういう場面はどうしても教科書に頼りがちである。すると文字に対する抵抗などもあって, 英語はむずかしいと思う生徒が増えてくる。
- (3) 入学試験に英語があるのでしかたなく勉強している生徒も多い。入試対策を意識しすぎると教師は生徒の間違いに対し厳しく, 完璧な答えを求めがちになる。ますます英語に対して苦手意識を強くする生徒を増やしてしまう。

中学校の英語学習の目標は「外国語を理解し, 外国語で表現する基礎的な能力を養うとともに, 言語に対する関心を高め, 外国の人々の生活やものの見方などについて基礎的な理解を得させる」ことにある。ことばの第一義的な機能をコミュニケーションと考えるならば, 英語学習においても「聞くこと」や「話すこと」にまず重点がおかれることになる。しかし「話すこと」はやさしいことではない。まず理解させることを目標として, それを土台にして「話すこと」を学ぶことになる。英語とは人間の話すことばであることを考え直したい。入試のための勉強は「理解」にとどまりがちであり, つめ込み的で, 熱心に勉強する生徒もいるが英語嫌いな生徒をつくる原因にもなっている。ことばの学習はもっと楽しいはずであり, もっと積極的で創造的な学習であることを生徒に感じとらせることができるような授業を展開したいと努力している。こういう意味において, MEFに期待するものは大きい。

## ティーム・ティーチング (Teri さんの資料から)

各校の英語担当者とMEFがティームを組み実践した授業の中からいくつかの方法をあげてみた。英語をことばとして親しませるために既習事項を活かして「聞くこと」や「話すこと」に重点をおいた言語活動の工夫がうかがえる。ネイティブ・スピーカーの生の声による自己紹介、スライドの説明、直接のことばのやりとりなど、生徒にとっていつもと違う変化に富んだ授業であったにちがいない。

### 1. あいさつ、自己紹介など

- (ア) T: Good morning, Class. S: Good morning, Mr-(or Mrs -, Miss-)  
ではじまる。How are you? What is the date today? How is the weather? など問いかける教師もいる。
- (イ) 毎時1人の生徒が教室前方にでてクラスに向って前記の問いかけをする。
- (ウ) MEFの紹介と短い対話をつけ加える。(教師)
- (エ) MEFが自己紹介する。
- (オ) MEFの訪問に対して歓迎のスピーチをする。(生徒)

### 2. デイリー・プロジェクト

学んだことを実際の場面で使わせるために、デイリー・プロジェクトとして、生徒に話させたり、聞かせたりする工夫がみられる。

- (ア) “What I did on Sunday”のような話題をショート・スピーチとして発表させ、その内容について教師またはMEFはクラスへ問いかけ英語で答えさせる。英語を話させることがねらいであるから進んで答えさせるよう訓練する。間違いや上手、下手はあまり問題にしないようにする。
- (イ) 学習した文型や文法事項をもとにして作文し発表させる。(グループ) Baseball is the most popular of the four. (Book II P.37)この文型をモデルにして、映画スター、歌手、果物、菓子などの絵を使いクラスに問いかける。どの人物、物、場所……が最も人気があるかグループで決め英語で発表させる。
- (ウ) What am I? ゲーム。クラスを二つに分け、人物、場所、物などを決め、相手グループに当てさせる。一方のグループには、各自が考えたヒントを英語でいわせる。話し方を利用したゲーム。
- (エ) ともだちの紹介。名前を伏せて先生が生徒を紹介したり、生徒が先生を紹介し、誰のことか当てさせる。「聞くこと」の練習に効果的。
- (オ) その他。
  - ・MEFから短い話を聞く。異文化のこと、アメリカの休日のこと……等。
  - ・生徒があらかじめ用意した質問にMEFが答える。
  - ・教科書を読んだ後、内容について話合う。

### 3. 復習のドリル

- (ア) (現在完了の例) モデルとなる文型をもとにして、生徒とMEFが短い対話をする。  
Have you lived here for a long time? (Book III P.21)

No. I have lived here for only three months.

- (イ) (be going to～の例) MEFが特定のスポーツとか場所、ことばなどを想定し、生徒に質問させ当てさせる。Are you going to play, study, visit ? (Book II P.45)
- (ウ) (教科書の記述内容を利用し、生徒の実際の生活場面に関連づけて英語を書かせる例)

November 7, 1983

Dear students,

Hello, How are you? May I ask you some questions about Japanese television? Is television in Japan interesting?

How many channels are there? What are some popular programs?

What is the most popular program? Well, I must close now,

Sincerely

Teri Mc Carthy

(Book II P.37)

November 7, 1983

Dear Teri Mc Carthy,

Thank you very much for your letter, In it you asked me about Japanese television. Here is my answer to your questions.

.....

#### 4. 新教材の導入

- (ウ) 新しい文法や単語から理解させる。
- (イ) 教科書の読みにはいる前に、その課の主題や内容について把握させておく。
- (ウ) 新しい文法事項を理解させてから(教師)、ドリルさせる(MEF)。(視覚補助用具の併用が大切)。
- (イ) 単語は英語で説明するよう努める。おもてに単語、うらに日本語のフラッシュ・カードはさける。絵、ジェスチャー、例などを使うようにする。
- (ウ) 単語の指導は、その語の使われ方や以ている語なども指導する。

#### 5. 教科書の読み

#### 6. 理解の確認

- (ウ) 記述の内容について質問する。(MEFから生徒へ)。
- (イ) 課の話題について話合う。
- (ウ) 教材を生徒の興味関心事(実際の生活場面)に関づける。
- (イ) T-Fテストを行う。(全生徒が自己評価できるような易しいもの)。

#### 7. まとめと家庭学習

## 「聞くこと」の実践例

(例1) 3年生

身近な出来事を話題にした教師とMEFとの対話。T-Fテストで理解の程度を確認した。

(提案者 Teri)

Hearing comprehension by conversation between MEF and Mr. Komaba

Komaba ; What did you do last Sunday ?

Teri ; I went to Maebashi to see the National Athletic Meet.

It was very colorful.

Komaba ; Please tell me about it.

Teri ; Well, I went with seven American friends. Seven US friends.

We sat in the orange section, where everyone wore an orange hat.

We watched many dances which were very colorful. Some dancers were very young children. Maybe five or four years old.

Then we watched the marching band. The band members were also very young. They were primary school students.

Komaba ; Did you see anyone special at the National Athletic Meet ?

Teri ; Yes. I saw the Emperor and the Prime Minister Nakasone at the National Athletic Meet.

( T or F Test )

- 1 Last Sunday, Miss Teri went to Tochigi to see the National Athletic Meet.  
(F)
- 2 She went to the National Athletic Meet alone. (F)
- 3 She sat in the orange section where everyone wore an orange hat. (T)
- 4 There were many colorful dances. (T)
- 5 She saw Mr. Komaba and Mrs. Nakamura at the National Athletic Meet.  
(F)

(例2) 3年生

デイリー・プロジェクト。「冬休み」をテーマにした生徒のスピーチのあと、MEFにも Winter Vacation について話してもらった。むずかしい部分はゆっくり、くりかえしたり、黒板に絵を描いて説明しながら話した。

‘ My Winter Vacation ’

I had a very special winter vacation. Because my friend came to Japan from America to visit me during winter vacation. I had a vacation from December 24th to January 9th. So I had a very long vacation.

My American friend came to visit me in Ashikaga and we had a very good time together. We went on two trips. First we went to Nikko. We borrowed, you know ‘borrowed’, we borrowed my friend’s green ban. You know ‘ban’. My friend had an international driver’s license, OK? So he drove and we drove to Nikko in a green ban. We stayed in ‘minshuku’ and went to Toshogu shrine. and went to Chuzenji-ko, the Lake Chuzenji. Then we went all the way to Yunoko. There was a ski resort. We enjoyed a trip to Nikko and then we took a mountain road. Into the mountains to Yunishigawa Onsen. You know Yunishigawa Onsen? We went into the mountains and there was some snow and ice on the road. People said, ‘You must put chains on the ban’s tyre.’ We had to put chains. You know ‘chain’. But we didn’t put chains. It was very thrilling. And my friend was very skillfull. Snow and ice. We had no accident, OK? Then we drove to Mashiko. At Mashiko we looked at some potteries. Then we took the train back to Ashikaga.

On January 5th, we went to Kyoto. We saw many temples like Kinkakuji, Kiyomizudera, Chionin, Ryoanji and Sanju-sangen-do. We saw many temples in Kyoto and had a very good time. Then we went to Tokyo. We went to some disco. It was a very good vacation for me.

I had a very nice time also when we were in Ashikaga. We went on hiking. We took the hiking course from Orihime-mountain to Gyodo-san. We did many things during the winter vacation. Do you have any questions?

(例3) 3年生

1月の最初の授業において、教師から New Year's Message をおくれた。Teri さんからも message を伝えてもらった。message の内容から、彼女がアフリカへ行きたい理由などについて対話が行われた。

New Year's Message by Teri McCarthy

Well, first of all, a Happy New Year and I wish you good luck. Good luck this year. I hope you pass your exam. I hope you good luck and get a good grade.

In America on new years, we make a new year's resolution, you know? For example, 'This year we will study very hard.' 'This year I will be very good to my parents.' New Year's Resolution. (Teri; 'Can you explane, Mr. Komada?' Komada; All right. It means ketsui or kesshin. We sometimes make a resolution on birthday. Teri; Oh, really? On birthday? We make on New Year's day. ) And we have a New Year's resolution. 'This Year I will not eat any candy or something like that.' So I hope you make New Year's resolution.

Do you know 'Goal'? For instance, my goal this year, my New year's resolution is 'I want to go to Africa.' That is my goal. And my second goal. Now. I am saving my money. Because my mother and my father want to go to Europe. But they have no money. So my goal is to save my money and buy plane tickets to Europe. That's my goal. So I have two goals. One is to go to Africa and second goal is to save my money and buy plane tickets to Europe for my parents. So I hope you make many goals, many good goals. Maybe to do well and pass exam or to make many friends, your new friends this year and in a high school. I hope you make many goals and can reach those goals. So that is my message. A happy new year and make many goals. Did you understand?

## チーム・ティーチングから得たもの

- ネイティブ・スピーカーに対するコンプレックスが徐々にとれてきたこと。外国人と話す機会が少ないため自分の英語に自信がもてず、間違いを気にしがちであったが、少しずつ落ちついて対話ができるようになってきた。
- 授業中、積極的にクラスルーム・イングリッシュを使おうという気になってきたこと。
- 理解させた語句や文型など、できるだけ運用させるような場面を工夫するようになったこと。
- 生徒のミスに対して寛大になってきたこと。(多少間違ってもコミュニケーションできる、教師の私自身もよく間違おう)
- 四技能に対する指導の重点のかけ方が思いきってできるようになったこと。

ネイティブ・スピーカーとチーム・ティーチングを始めてまだ日が浅い。しかし回を重ねるにしたがい積極的にMEFを活そうとする生徒や授業にはりきりだした生徒が増えてきたように思う。授業以外でも、MEFと学校の中で顔を合せたり声をかけるなどして親密感を増しているように見える。MEFとのチーム・ティーチングを通して、上に述べたように、私自身の英語に対する、授業に対する気持ちの持ち方に変化があったことを何よりの収穫であると思っている。これがすぐに生徒の学力の向上に結びつくとはいえないにしても、英語学習への意欲は高まりつつあるものと思う。今後、生徒の学習意欲を一層高め英語の学習は楽しいものであることを感得させることができるような授業を展開するためには、MEFのどんな援助が必要か、何が期待できるか、最大限に活用するにはどうしたらいいか等について、研究を深めていかなければならないと考えている。

MEFの存在は、「聞くこと」や「話すこと」の言語活動をするうえで有効であり、それにともない私たちの指導法の工夫や改善をうながすものであり、それが直接的にも間接的にも生徒の英語学習の動機を強化するものであるといえる。5年前、西ドイツのゾーリンゲン市の学校を視察する機会を得たが、どこのギムナジウムにも英語を教える教師の中には英国人が1人はいた。

今後、さらにMEFを上手に活用していくうえで、私たちとチームを組んだTeriさんの、私たちの授業に対する卒直な感想と、Teriさん自身の悩みや問題点などを記してこのレポートを終らせたいと思う。

[MEFとして授業をみて気になること]

1. 授業中、英語を話す練習が少いこと。
2. 教師の指示のし方がクラスルーム・イングリッシュでなく日本語を使っていること。
3. 教科書の逐語訳のこと。
4. 英語の発音を教えるのにカタカナを使うこと。
5. 発音[θ] - [s], [s] - [ʃ], [l] - [r]の区別のこと。
6. 1日1ページ主義のこと。
7. T-Fテストのこと。
8. 教師・生徒の意欲のこと。



〔MEFとしての悩みなど〕

1. 教師とのコミュニケーションの機会が少ないこと。
2. 準備時間が少ないこと。
3. 生徒の語い力に精通してないこと。
4. 生徒が英語の指示語に不慣れであること。
5. 日本語を流暢に話せないこと。（教室内で使う日本語に精通してない）。
6. ネイティブ・スピーカーの英語に慣れていない生徒が、MEFから受ける英語ショックのこと。
7. MEFが新しいことを紹介しようとする、今までの授業方式に慣れている生徒が戸惑うこと。

評

本市に国際理解教育の推進という見地から、昭和58年7月以降MEFを市単独事業として招へいし、「聞くこと」「話すこと」を重視した英語の授業が展開され、各校の担当者の努力によって着々とその効果をあげていることはすばらしいことである。このことは各校の学校、学級新聞の記事などからも、生徒がMEFの援助指導によって楽しく授業に参加している様子からうかがえる。

今回は毛野中学校から授業の中でMEFを利用した授業実践例を寄稿いただいた。各中学校においても、それぞれMEFの利用という点については工夫をこらしているところであるが、毛野中学校の実践例はまことに時機を得たものであり、MEF利用にあたっての示唆を与えてくれるもので、各校の参考になる点が多い。

MEFの効果的な利用にあたっては、どのような計画で、どのような教材を用いて展開するかなど、事前相談に時間をかけることが必要であり、この時間が十分とれれば授業は殆んど成功すると言われていた。また、授業後の話し合いの中で授業反省をしあうことも次の時間へのつなぎという点から大切なことである。MEFにとって自分を十分役立ててもらおうということはとてもありがたいことである。有意義なことであれば、MEFは仕事は多くても授業の中での役割分担を喜ぶものである。なにも分担がなくて、MEFの能力が生かされないときにこそ、不満を抱くことを忘れてはならない。MEFが「有効に使われ」ないことには、宝の持ち腐れである。

昭和59年度においてもテリーさんの後任としてグレッチェン・ラマースさんの来足が確定している。今後ますますMEF利用のあり方についての実践例を各校で累積され寄稿されることを期待したい。